

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成24年7月19日 (2012.7.19)

【公開番号】特開2010-284357(P2010-284357A)
 【公開日】平成22年12月24日 (2010.12.24)
 【年通号数】公開・登録公報2010-051
 【出願番号】特願2009-140867(P2009-140867)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 3 4

A 6 3 F 7/02 3 0 4 B

A 6 3 F 7/02 3 2 4 D

【手続補正書】
 【提出日】平成24年6月4日 (2012.6.4)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

遊技球が流通する球通路と、該球通路を流通する遊技球を検出する検出スイッチとを備える遊技機であって、

前記球通路に、所定方向に延びる第 1 通路と、該第 1 通路とは別の方向に分岐するように上流側へ延びる第 2 通路とが形成され、

前記検出スイッチが、前記第 2 通路または該第 2 通路よりも上流側であって、該第 2 通路内に遊技球が貯留されたときに所定の遊技球を検出可能な位置に設けられていることを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記所定の遊技球が、分岐点に位置する遊技球に接続する遊技球を 1 球目とした場合の 2 球目～7 球目の遊技球であることを特徴とする請求項 1 に記載の遊技機。

【請求項 3】

前記第 1 通路の終端が閉塞されていることを特徴とする請求項 1 または請求項 2 に記載の遊技機。

【請求項 4】

前記球通路の第 2 通路および該第 2 通路の分岐部が、遊技球を実質的に余裕のない状態で流通させ得るように形成されていることを特徴とする請求項 1 から請求項 3 のいずれかに記載の遊技機。